

作成日： 2023年5月9日

改定日：

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
供給者の会社名称, 住所及び電話番号

レナガス フィニッシュコート

【会社名】

株式会社ヤマチコーポレーション

【住所】

北海道札幌市北1条西10丁目1-17

【電話番号】

011-261-9911

供給者のファクシミリ番号又は
電子メールアドレス

【FAX番号】

011-261-9922

緊急連絡電話番号
推奨用途

011-261-9911

左官材料(ペースト状)

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

【健康に対する有害性】

皮膚腐食性/刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
皮膚感作性	区分に該当しない
呼吸器感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分1B
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分に該当しない
吸引性呼吸器有害性	区分に該当しない

【環境に対する有害性】

水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分1

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
軽度の皮膚刺激
強い目刺激
遺伝性疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
水性生物に非常に強い毒性
長期継続的影響により水性生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師に連絡すること。
皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること
眼の刺激が続く場合: 医師の診断を受けること
漏出物を回収すること

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
一般名

混合物
アクリル樹脂系仕上り塗材

化学名又は一般名	官報公示整理番号		CAS番号
	(化審法)	(安衛法)	
	化審法番号	安衛法番号	
炭酸カルシウム／粗骨材	-	-	1317-65-3
水	-	-	-
アクリル樹脂	非公開	非公開	非公開
可塑剤	非公開	非公開	非公開
酸化チタン	1-558	既存	13463-67-7
セルロース	-	-	9004-34-6
防カビ・防藻剤 (主成分:有機窒素硫黄系化合物)	非公開	非公開	非公開
防錆剤(主成分:亜硝酸塩)	記載あり	-	非公開
鉱油	非公開	非公開	非公開
グリオキザール付加 ヒドロキシエチルセルロース	8-578	既存	68957-96-0 71888-87-4
ヒドロキシエチルセルロース	8-194	既存	9004-62-0

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

眼に入った場合

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
直ちに医師の診断/手当てを受ける。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
直ちに医師の診断/手当てを受ける

5. 火災時の措置

特有の危険有害性

このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である

適切な消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

データなし

消火活動を行う者の

特別な保護具及び予防措置

消火活動は可能な限り風上から行い有毒なガスの吸入を避ける。
消火活動では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。こぼれた場所は滑りやすいために注意する。多量の場合、人を安全に退避させる。漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護メガネ、保護衣等を着用する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合には乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合に盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

河川等に流出した場合は、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

【技術的対策】

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い保護具を着用する。

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

【安全取扱注意事項】

接触、吸入又は飲み込まないこと。

保護手袋などの適切な保護具を着用する。

作業場の換気を十分に行う。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【接触回避】

知見なし

【衛生対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

【安全な保管条件】

凍結、直射日光を避け、換気の良い屋内に保管し、保管時の温度が5℃以下及び40℃以上とならないようにする。

使用後は皮張り、腐敗防止のために、密封して貯蔵する。

【安全な容器包装材料】

大量に保管する場合は、消防法の技術上の基準に従う。

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

蒸気、またはミストが発生する場合には、局所排気装置などの装置を設置する。

保護具

【呼吸用保護具】

状況に応じ、防塵マスク、防毒マスクを着用する。

【手の保護具】

状況に応じ適切な保護手袋を着用すること。

【眼、顔面の保護具】

状況に応じ適切な眼の保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。

【皮膚及び身体の保護具】

状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	ペースト状
色	白色
臭い	微臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水で希釈可能
n-オクタノール/水分分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の取り扱い条件においては安定

危険有害反応可能性
強酸化剤と反応して危険。

避けるべき条件
混触危険物質
データなし
強酸化剤

危険有害な分解生成物
データなし

11. 有害性情報

製品の有害性情報
データなし

成分の有害性情報

急性毒性(経口)

可塑剤(非公開)	
急性毒性(経口)	ラット LD50>3200mg/kg(SIDS),6517mg/kg(SIDS)
酸化チタン	
急性毒性(経口)	ラット LD50> 2,000 mg/kg、> 5,000 mg/kg (SIDS (2015))、> 10,000 mg/kg (HSDB (Access on May 2016)、環境省リスク評価第8巻(2010))、> 12,000 mg/kg、> 20,000mg/kg (環境省リスク評価第8巻(2010))
防錆剤(主成分:亜硝酸塩)	
急性毒性(経口)	ラット LD50>390mg/kg
グリオキサール付加ヒドロキシエチルセルロース	
急性毒性(経口)	ラット LD50 8700 mg/kg 以上(J. Am. Pharm.Assoc.Sei.,Ed.36,335-6(1947))
ヒドロキシエチルセルロース	
急性毒性(経口)	ラット LD50 2000 mg/kg 以上

急性毒性(経皮)

可塑剤(非公開)	
急性毒性(経皮)	ウサギ LD50 >15.2g/kg(SIDS)
酸化チタン	
急性毒性(経皮)	ハムスター LD50> 10,000 mg/kg(HSDB (Access on May 2016)、環境省リスク評価第8巻(2010))

急性毒性(吸入:ミスト)

可塑剤(非公開)	
急性毒性(吸入:ミスト)	ラット LC50(6hr) ≥3.55mg/L(SIDS)
酸化チタン	
急性毒性(吸入:ミスト)	ラット LC50> 5.09 mg/L (SIDS (2015))

皮膚腐食性/皮膚刺激性

可塑剤(非公開)	
皮膚腐食性/皮膚刺激性	モルモット 皮膚刺激性試験 軽度の刺激性(軽度～中等度の紅斑)(SIDS)
酸化チタン	
皮膚腐食性/皮膚刺激性	ウサギ わずかな刺激性や刺激性なしとの記載(SIDS(2015))
防錆剤(主成分:亜硝酸塩)	
皮膚腐食性/皮膚刺激性	経験上、皮膚を刺激する可能性がある
防カビ・防藻剤(主成分:有機窒素硫黄系化合物)	
皮膚腐食性/皮膚刺激性	10%液で刺激性あり、1%液で刺激性なし。(ウサギ) P.I.I.(一次刺激性インデックス):4.9 中等度の刺激性(ウサギ)

眼に対する重篤な損傷性/目刺激性

可塑剤(非公開)	
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	ウサギ 眼刺激性試験 軽度～中等度の刺激性(SIDS)
防錆剤(主成分:亜硝酸塩)	
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	強い目刺激
防カビ・防藻剤(主成分:有機窒素硫黄系化合物)	
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	ウサギ 刺激性あり。(推定)
グリオキザール付加ヒドロキシエチルセルロース	
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	ウサギ 軽微の刺激性(原材料メーカー調査)

皮膚感作性

可塑剤(非公開)	
皮膚感作性	モルモット 皮膚感作性試験 陰性(SIDS)
酸化チタン	
皮膚感作性	モルモットを用いた皮膚感作性試験(ビューラー法、OECD TG 406)及びマウスを用いた皮膚感作性試験(LLNA法、OECD TG 429)はいずれも陰性。本物質には皮膚感作性はないと判断されている(SIDS(2015))
防カビ・防藻剤(主成分:有機窒素硫黄系化合物)	
皮膚感作性	EC3(最低感作濃度):17.5%陽性(低～中等度の感作性物質)(♀マウス、LLNA法)
グリオキザール付加ヒドロキシエチルセルロース	
皮膚感作性	ウサギ 感作性なし(原材料メーカー調査)

生殖細胞変異原性

可塑剤(非公開)	
生殖細胞変異原性	マウス in vivo小核試験(経口投与) 陰性(SIDS、IUCLID) サルモネラ菌 エームス試験 陰性(SIDS)
防錆剤(主成分:亜硝酸塩)	
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患のおそれの疑い
防カビ・防藻剤(主成分:有機窒素硫黄系化合物)	
生殖細胞変異原性	エームス試験 陰性
グリオキザール付加ヒドロキシエチルセルロース	
生殖細胞変異原性	Amesテスト 陰性(原材料メーカー調査)

生殖毒性

可塑剤(非公開)	
生殖毒性	ラット 反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(経口投与) 生殖・発生に異常なし NOEL=1000mg/kg/day(SIDS、IUCLID)
防錆剤(主成分:亜硝酸塩)	
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響の恐れを疑い。 授乳中の子に害を及ぼす恐れ

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

可塑剤(非公開)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラット 吸入急性毒性試験 呼吸器刺激(RTEGS)
防錆剤(主成分:亜硝酸塩)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	血液の障害

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

可塑剤(非公開)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラット簡易生殖毒性試験(雄:51日間、雌:40~51日間経口投与) 肝臓重量の増加、肝細胞の肥大(代謝活性の亢進による) NOAEL=1000mg/kg·bw(SIDS) ラット15日間経口投与試験 雄で腎臓の硝子滴、雌で肝臓重量の増加 NOEL=100mg/kg·bw(SIDS)
防錆剤(主成分:亜硝酸塩)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	長期にわたる、又は反復ばく露による血液の障害のおそれ

12. 環境影響情報

製品の環境影響性情報

データなし

成分の環境影響情報

生態毒性

水性環境有害性 短期(急性)

分類できない(データ不足)

水性環境有害性 長期(慢性)

分類できない(データ不足)

可塑剤(非公開)	
生体毒性	魚類(ファットヘッドミノー)LC50(96h)30mg/L(SIDS)
	甲殻類(オオミジンコ)LC50(96h)≥95mg/L(SIDS)
	藻類(イカダモ)EC50(72hr)18.4mg/L、NOEC(72hr)3.28mg>L(SIDS)
酸化チタン	
生体毒性	魚類(メダカ)LL50(96h)>100mg/L(SIDS)
	甲殻類(オオミジンコ)EL50(48h)≥100mg/L(SIDS)
	藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)EL50(growth rate)100mg/L、NOEC(72hr)3.28mg>L(SIDS)
ヒドロキシエチルセルロース	
生体毒性	魚類 LC50>500mg/L(OECD 203)
	他の水性生物 EC50>1000mg/L(OECD 209)

残留性・分解性

可塑剤(非公開)	
残留性・分解性	生分解性試験、易分解性でない(SIDS)
ヒドロキシエチルセルロース	
残留性・分解性	易分解性でない
グリオキザール付加ヒドロキシエチルセルロース	
残留性・分解性	BOD負荷 0.07g/g
	COD負荷 0.7g/g

生体蓄積性

可塑剤(非公開)	
生体蓄積性	log Pow=3.47(25°C)(SIDS)
ヒドロキシエチルセルロース	
生体蓄積性	潜在的生物蓄積性はない

土壌中の移動性

防錆剤(主成分:亜硝酸塩)	
土壌中の移動性	移動する場合がある

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、

かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

【残余廃棄物】

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは
地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を
十分告知の上処理を委託する。

【汚染容器及び包装】

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の
基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連勧告	
国連番号	該当しない。
品名(国連輸送名)	該当しない。
国連分類	該当しない。
容器等級	該当しない。
MARPOL73/78附属書II及びIBCコード	
によるばら積み輸送される液体物質	該当しない。
輸送又は輸送に関する特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。 他の危険物のそばに積載しない。
国内規制がある場合の規制情報	該当しない。

15. 適用法令

該当法令の名称及び

その法令に基づく規制に関する情報

【労働安全衛生法】

名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)

鉱油、酸化チタン

【毒物及び劇物取締法】

該当しない

【消防法】

防錆剤(主成分:亜硝酸塩)

危険物第1類亜硝酸塩類、危険等級Ⅲ(本製品含有量は1%未満)

セルロース

指定可燃物(本製品含有量は1%未満)

【化学物質排出把握管理促進法】(PRTR法)

グリオキサール

第1種指定化学物質(本製品含有量は1%未満)政令番号84号

【船舶安全法】

防錆剤(主成分:亜硝酸塩)

酸化性物質類(酸化性物質)(本製品含有量は1%未満)

防カビ・防藻剤

腐食性物質 第8類

【航空法】

防錆剤(主成分:亜硝酸塩)

酸化性物質類(酸化性物質)(本製品含有量は1%未満)

防カビ・防藻剤

腐食性物質 第8類

【海洋汚染防止法】

炭酸カルシウム

施工令別表第1の2 有害でない物質(10)炭酸カルシウム

酸化チタン

有害性液体物質(2類物質)(施工令別表第1)

【輸出入貿易管理令(キャッチオール規制)】

HSコード2521.00-000 石灰石

HSコード2836.50-000 炭酸カルシウム

【じん肺法】

石灰石

法第2条、施工規則第2条別表粉じん作業

酸化チタン

法第2条、施工規則第2条別表粉じん作業

【労働基準法】

酸化チタン

第62条 年少者の就業制限

16. その他の情報

本データシートは、日本産業規格JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。